

## 2007 年度「夏の学校」のお知らせ

天文・天体物理若手の会夏の学校（以下、「夏の学校」）は、天文学および宇宙物理学に携わる大学院生を中心とする若手研究者の組織「天文・天体物理若手の会」が主催する合宿形式の研究会です。

- ◆日時：2007年7月30日（月）～8月2日（木）
- ◆場所：レイクフォレストリゾート（京都府相楽郡南山城村）
- ◆夏の学校事務局 Web ページ：<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/ss2007/>

今年で37回目を迎える夏の学校は、天文・天体物理学の若手研究者（主として大学院生）を対象に毎年行われている合宿形式の研究会であり、運営も若手研究者自身が行っています。その目的は、幅広い分野の発表を聞くことによって視野を広げること、自ら発表することでプレゼンテーション能力を高めること、さまざまな分野の第一線で活躍する研究者や若手研究者との交流を深めることです。今年度は京都大学の院生を中心とした事務局が運営を行っています。

今年の夏の学校の企画（右表）は、パラレルセッションとして開催される通常の分科会と、天文学と社会・天文学の舞台裏・事務局企画の3つのシングルセッションから成り立っています。今年の夏の学校の特色は、これまで2パラレルセッションで開催されていた分科会を3パラレルにしたことです。これにより、近年の発表者増と発表時間の不足に対応し、内容の充実を図りました。また、事務局企画に新たに公募制を導入したことも特色として挙げられます。この公募制は、有志が自由に立ち上げた企画を投票で選ぶことによって、参加者の関心が高い企画を実施することを目的としています。今年は実際に5件の応募があり、投票の結果、「みせてもらおうか、PDの実力とやらを」が選ばれました。そのほかにも、アストラクト集を充実させるなど、質の面を中心に参加者が十分に満足できる夏の学校を目指しています。

開催地は静かで緑豊かな京都府相楽郡南山城村にあり、普段の町中での生活から離れ、勉強に集中することができます。

夏の学校に関する最新情報は、随時 Web ページにて公開しています。皆様のご参加を、事務局一同、心からお待ちしております。

2007 年度天文・天体物理若手の会  
 （文責） 夏の学校事務局  
 広報担当 宮前克之（京大）  
 連絡先：ss07info@kwasan.kyoto-u.ac.jp

表 今年度のセッションとそのテーマ。

セッション	テーマ
コンパクト・オブジェクト	コンパクトオブジェクトの大問題 —若人たちへの挑戦状—
宇宙線	A Window on the Extreme Universe
銀河・銀河団	銀河の育て方
系外惑星	さまざまな惑星系の姿とその形成過程
太陽・恒星	ひので (Solar-B) の活躍と恒星・太陽観測の将来に向けて
観測機器	天文学の始まりは機器製作から
星間現象	多様な星間現象の総合的理解を目指して
相対論・宇宙論	Brand New Step —宇宙のより深い理解に向けて—
天文学と社会	サイエンス・インタープリター
天文学の舞台裏	天文学者の見る天文研究
事務局企画 (公募企画)	みせてもらおうか、PDの実力とやらを



レイクフォレストリゾート外観。